

# 雑木林ファンクラブ通信

住所：〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

## 花笑みコンパス

四季を問わず腰落とし足元目線、重心下げた安定歩行急ぎ足だが、近ごろ少々様子が違う。背筋を伸ばし目線は前方上向き、牛歩時に立ち止まる。バードウォッチングならぬツボミウォッチングで春探し真ただ中の三月は知らず識らずのうちにこんな姿勢になっている。お目当ての筆頭はコブシの蕾。その膨らみ具合が何とも気になる。横浜自然観察の森や市民の森なら双眼鏡を使えるが、空き巣・忍び込みを警戒する住宅地ではご法度。即刻不審者通報されかねない。目視観察が無難。外出ついでの楽しみにはこれで十分。場面によっては即席等倍率双眼鏡が役に立つ。両手の親指と人差し指で輪を作り目に当てると視野が限定されるぶんが絞られ、1:1とは思えぬほど鮮明に対象が浮き出てくる。お試しを。

『早春の山で道に迷ったらコブシを捜せ。コンパス(磁石)無くとも心配するな。蕾の先が北を指す』と耳にしたのは♪北国の春♪と同時だった。“春は南から駆け上がり、秋は北から降りてくる”に従えば蕾は南を向きそうなのに何でコブシは北を向く?愚にもつかぬ非科学的疑問の答えは“日の温もり”にあった。『春まだ浅い候に花を咲かせようと蕾は僅かな温度差・変化に敏感に反応し、陽光を真っ先に受ける部分(一般に南側)から膨らみ始める。南側が急速に膨張(成長)し北側との成長バランスが崩れると蕾の先端が反り返り北を指す』のだとか。

このアンバランス関係は全ての植物に見られるが、特に顕著に現われる春迎の花が『コンパスプラント(方向指示植物)』と呼ばれる。その代表は庭木としてお馴染みのコブシにハクモクレン、ネコヤナギ。このコンパストリオの蕾が北を向くのは開花直前、綻び初めの花笑む頃。コブシなら3番目の苞の落下が目安だそうだがニアミス続きで未確認。会いに行く時はいつもニコリともしないか破顔一笑状態だ。暖かい横浜で蕾の何割が微笑みながら北を向くのか数えるのが今年の課題。そして、ネコヤナギと見まごうヘイケボタルの湿地のフリソデヤナギの蕾もコンパスを内蔵しているのか、は当分宿題。

朱鷺

参考) コブシの名の由来

- 1 開花直前の蕾の形を幼児の握った手・拳に見立てた。
- 2 集合果が握り拳に似ている

## 1. 2月の活動報告

- ① 2月2日(土) 晴 20名 檜材伐採( L地区)、製材、くぬぎ林整理
- ② 2月9日(土) 晴 20名 雪害倒木の整理、本窯炭だし、炭材加工(竹) SF 準備
- ③ 2月16日(土) 晴 20名 クヌギ林よりホダギ材搬出・雪害倒木の整理・トウネズミモチ除伐と材の運搬、 SF 準備、 午後:ゴロ報発送、運営会
- ④ 2月17日(日) 晴 7名 氷取沢ガールスカウトの森・間伐指導(佐野、片岡、佐藤、西ヶ谷、下谷、武田、藤原) 4名 森ボラ説明会(村松、張間、鈴木、宮田)
- ⑤ 2月23日(土) 晴 24名 SF 準備、雪害倒木整理と材の運搬、“にぎわいの谷”管理計画見直し検討会



昨年倒しておいたクヌギを玉切りのうえ、炭小屋に持ち込んだ。3月にコマ打ち。



左:トウネズミモチの除伐。まだまだ続きます。

右:氷取沢、ガールスカウトの森で杉伐倒の手伝い。ロープを引いたり枝払いに挑戦した大きいお嬢さんたちは歓声をあげ、小さい子供さんは落葉を集めて堆肥作りに頑張りました。

## 2. 運営会報告 (2月16日 1400 ~ 1500)

### ① ZFC会員向け森ボラ勉強会

- ・ 3月1日(土)午後、実施する。所要時間: 2時間。

趣旨は、友の会の会員は入会時に森ボラの説明をうけこの森の保全と運営、各プロジェクトの活動を理解のうえ個々人が活動することを期待されている。友の会に入会しないで ZFCで活動する人があってはまずいし、制度が出来る前に ZFCに入会した人も多少ある模様。この件については、友の

会の理事会・運営会でも問題指摘がある。今回、ZFCの未履修者を対象に勉強会を実施し、ZFCは既履修者リストを整備する。3月1日の活動には、ぜひ来森、森の運営理念や方針を再認識する機会とされたい。

② スプリングフェア2008

- ・ 4月19日(土)、20日(日)に横浜公園にて開催される。参加の申込み済み。
- ・ SF用作品のリスト・・・木・竹酢液、炭、灰、駕籠屋の駕籠、竹馬、コースター、鍋敷、写真立、竹細工、木細工、プランター、靴べら、パズル等ホダギ作り
- ・ 今年はホダギ材が少ない。コマは 1,000 個購入する。3月にコマ打ち実施。

③ トウネズミモチ除伐

- ・ 本日、県水道事業団の管理地のうち道路側からクヌギ林に下りる道沿いが雪で痛んでいた所を優先的に除伐、炭材として炭小屋に持ち帰った。今後引き続き徐々に実施する。尚、既報のとおり観察の森の中のトウネズミモチは除伐する方針が確認されている。

④ 本窯炭焼き(竹炭)

- ・ 2月中に炭材作り窯詰のうえ、3月早めに実施1日で焼上げる。木酢液の在庫はあるが、竹酢液は切れており、蒸留すれば SF に間に合う。

⑤ その他作業予定打合せ

- ・ 名瀬北村農園: 伐倒した杉材の処置は、先方と調整のうえ希望通りに処置する。
- ・ 桂台の孟宗竹は 2月24日(日)に先方グループにより伐採され、後日 ZFCが搬出、炭小屋に持ち帰る。同日に 9号緑地より杉材も持ち帰る。
- ・ 長光寺の竹林整備(間伐): 昨年来先方より寺境内の孟宗竹林間伐依頼があったが、延びのびになっている。材を加工し利用するためには季節遅れであるが、炭材と竹酢液を目的とするには、筍の季節が終わってからと考えられるので、改めて相談、予定に繰り込む。

3. 3月の活動予定

- ① 3月1日(土) Sf準備、午後・ZFCメンバー向け森ボラ勉強会
- ② 3月8日(土) Sf準備、クヌギ林補植
- ③ 3月15日(土) SF 準備、午後・運営会
- ④ 3月22日(土) SF 準備、製材
- ⑤ 3月29日(土) 自主活動日扱いにする? 後日、打合せ。

以上の外に、本窯竹炭焼き、トウネズミモチ除伐、孟宗竹・ 9号地杉材持帰り、シイタケ菌コマ打ちを適宜実施する。他に、毎水曜日は自主活動日。

4. その他

- ① 炭焼き記録( 2007 年度第3回目: 12月15/16日実施)を添付します。窯改修後の初炭焼きです。
- ② 新入会員  
鈴木昭司さん、赤羽義郎さん、遠山喜代三さん
- ③ 会報の今月号は通算200号になりました。
- ④ 友の会の年会費、振込みをお忘れなく。ゴロ報参照。

以上

ZFC 投句

残り雪 動き始めた 山の色  
修平